

15. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します。

●2020年度の第13回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「微分幾何と可積分系 (Differential Geometry and Integral Systems)」, 組織委員長を大仁田義裕氏 (大阪市立大学) として, 2022年3月1日~21日の日程で大阪市立大学において開催される予定です。(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が変更となりました。) 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください。

http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/~ohnita/2020/MSJ-SI2020_e.html

●2021年度の第14回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022年7月17日~30日の日程で学習院大学と東京大学において開催される予定です。(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました。)

●2022年度の第15回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「応用特異点論の深化と展開 (Deepening and Evolution of Applied Singularity Theory)」, 組織委員長を西村尚史氏 (横浜国立大学) として, 2022年11月頃に開催される予定です。

●2021年5月末日が締切であった2023年度MSJ-SIの公募に対し, 1件の応募がありました。現在学術委員会において審議を行っております。

●2024年度MSJ-SIテーマ公募について

2024年度MSJ-SIについてテーマ公募を開始します。締め切りは**2022年5月31日**です。

MSJ-SIは, 以下の特徴を持ちます。

- ・数学会から500万円の助成金が提供されます。
- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国

と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者が派遣されます。

- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます。

応募される方は, 締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を学術委員長までお送りください。また, 下記メールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

送付先: 日本数学会学術委員会委員長
塩谷 隆

電子メール: [shioya\(at\)math.tohoku.ac.jp](mailto:shioya(at)math.tohoku.ac.jp)
郵便: 〒980-8578

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
東北大学大学院理学研究科数学専攻

詳細については, 本号に掲載の公募要領を参照して下さい。

(学術委員長 塩谷隆 記)